

# 戸祭地域データブック

平成28年6月

宇都宮市立図書館作成

# 目次

1 歴史	・・・	P 1
2 町名	・・・	P 8
3 自然		
(1) 地形	・・・	P10
(2) 山岳	・・・	P10
(3) 沼沢・河川	・・・	P10
(4) 名木	・・・	P10
4 主要施設		
(1) 行政機関	・・・	P11
(2) 教育施設	・・・	P14
(3) 医療機関	・・・	P18
(4) 社会福祉施設	・・・	P21
(5) 金融機関	・・・	P23
(6) 体育施設	・・・	P24
(7) 文化施設	・・・	P24
(8) その他の施設	・・・	P24
5 民俗		
(1) まつり・行事	・・・	P25
(2) 民話と伝説	・・・	P25
6 主な文化財・遺跡等	・・・	P26
7 交通	・・・	P27
【参考】	・・・	P29

## 1 歴史

	できごと
縄文時代	松ヶ丘遺跡（戸祭町）
古墳時代	松ヶ丘遺跡（戸祭町），宝木古墳（一の沢町） 戸祭兔田遺跡（戸祭町），戸祭山兜塚古墳（戸祭町）
奈良時代	水道山瓦窯跡群（戸祭町）
室町時代	和尚塚（戸祭2丁目）
元和5年 （1619）	日光街道の完成。
寛文2年 （1662）	戸祭村，北部の上戸祭村と南部の下戸祭村が分村した。 のち，上戸祭村は戸祭村上組，下戸祭村は戸祭村下組となり， 明治22年戸祭村上組は国本村の大字，戸祭村下組は宇都宮町の 町名になる。
寛文10年 （1670）	西原十か新田開拓開始。 長良神社，雷電神社を上州より分祀。
享保9年 （1724）	祥雲寺を開山した良訓和尚の供養ための塚が築かれた。（和尚 塚）
安政5年 （1858）	宝木用水着工。
明治8年 （1875）	十か新田村が合併して「宝木村」と改称。 上戸祭地内に収養舎小学校があった。
21年	栃木県尋常師範学校内に栃木県尋常師範学校附属小学校新築。 尋常小学校に「幼稚科」が設置。
22年	市町村制施行。 新里，岩原，宝木，戸祭，野沢の各村が合併し，「国本村」とな る。 戸祭村上組は国本村の大字，戸祭村下組は宇都宮町の町名にな る。
25年	愛隣幼稚園，日本聖公会宇都宮聖公協会付属幼稚園として設立。
26年	付属幼稚園，栃木県尋常師範学校附属小学校に付設。栃木県尋 常師範学校附属尋常中学校が滝の原に移転。その旧校舎に付属

	小学校，幼稚園が移る。
29年	宇都宮市市制施行。宇都宮軌道運輸が設立。
30年	宇都宮市西原町（現在の関東財務局）と城山村荒針（現在の 大谷寺付近）を結ぶ6.3キロメートルの人車鉄道が開通。 国本村にコレラ発生，次いで，戸祭町に発生。
33年	栃木県尋常師範学校附属幼稚園を廃止。
34年	栃木県師範学校，戸祭町松原に移転。
35年	栃木県師範学校新校舎落成移転（戸祭町松原，現宇都宮大学付 属小学校・中学校）。
36年	人車軌道，西原町から材木町（現裁判所前）まで延長。
39年	栃木県女子師範学校附属小学校及び幼稚園を設置。 栃木県女子師範学校附属小学校を栃木県尋常師範学校附属小学 校に併設。 宇都宮軌道運輸は宇都宮石材軌道に社名変更。
41年	第十四師団設置，歩兵六十六連隊着営。 陸軍衛戍病院が師団司令部北側に開設。 師団司令部と陸軍衛戍病院は現在の栃木医療センター（旧国立 栃木病院）の所。 軍用道路（通称軍道，今の桜通り）が開通。
42年	歩兵五十九連隊設置。 師団設置を記念し，軍道（現桜通り）に桜樹（約5,000本）を 植樹。 戸祭より国本村地内日光街道の師団司令部までの道路拡張竣 工。
大正2年 （1913）	国本村大字戸祭字長峯（中戸祭町）において水道敷設地鎮祭及 び起工式挙行。
大正4年	栃木県女子師範学校附属幼稚園を廃止。
5年	戸祭配水場（中戸祭町）竣工。
7年	第十四師団陸軍衛戍病院より出火，内科第4号室全焼。
11年	宇都宮尋常小学校西校分校創立。
12年	宇都宮尋常小学校西校分校，宇都宮戸祭尋常小学校として独立。

14年	戸祭小学校鉄筋コンクリート造りの講堂落成。 城山村大字一の沢で火災（焼失11戸）。
昭和2年 (1927)	満開の桜の名所「軍道」に数万人が押し寄せる。 塙田町から戸祭町にわたる耕地整理事業（大正14年起工，2万1382坪）完了
昭和3年 (1928)	栃木県師範学校が国本村宝木の歩兵六十六連隊跡新校舎に移転。 材木町～大谷間及び材木町～徳次郎間に9人乗りのガソリンカー6両が運転される。
4年	栃木県師範学校附属小学校，国本村宝木に移転。 栃木県女子師範学校附属小学校，松原に移転。
6年	戸祭町に河内郡青年会館落成。 宇都宮石材軌道は東武鉄道と合併。
7年	学務委員会，昭和小学校通学区域認定及びそれに伴う東校・戸祭校・西原校・西校の一部変更を決定。
8年	宇都宮第二高等女学校，松原へ移転。 戸祭に県自動車運転手試験場起工。 戸祭町・今泉町の失業救済国道改良工事着工。
11年	栃木県女子師範学校附属幼稚園再開園。
14年	城山村大字駒生字一の沢が宇都宮市に編入。「一ノ沢町」になる。
15年	陽北土地区画整理組合の設立。対象は一ノ沢町・戸祭町地域三十町歩の区画整理。
16年	宇都宮戸祭尋常小学校，宇都宮市立戸祭国民学校と改称。
20年	愛隣幼稚園，戦争のために休園。 栃木県師範学校幼稚園休園（4月1日～8月31日）。 宇都宮空襲。 終戦後，宇都宮第一陸軍病院と戸祭分院（新川分院）が国立栃木病院に，宇都宮第二陸軍病院が宇都宮国立病院として発足。
21年	国立栃木病院と宇都宮国立病院が合併して，国立栃木病院（現在の栃木医療センター）となる。
22年	愛隣幼稚園 再開。 宇都宮市立戸祭国民学校，宇都宮市立戸祭小学校と改称。

	<p>栃木師範学校女子部附属幼稚園と改称。</p> <p>栃木県師範学校男子部附属中学校を宝木に設置。</p> <p>栃木県師範学校女子部附属中学校を松原に設置。</p> <p>国立栃木病院附属高等看護学院が発足。</p>
23年	<p>宇都宮第二高等女学校，宇都宮松原女子高等学校と改称。</p>
24年	<p>栃木県師範学校男子部附属中学校と栃木県師範学校女子部附属中学校を統合し，栃木師範学校附属中学校を松原に設置（4月1日）。</p> <p>宇都宮大学設置（5月31日）後，栃木師範学校附属中学校を宇都宮大学栃木師範学校附属中学校に改称。</p> <p>栃木県師範学校附属小学校・栃木県女子師範学校附属小学校，宇都宮大学栃木師範学校附属小学校（宝木校及び松原校）に改称。</p> <p>宇都宮市立陽西中学校設立。</p> <p>戸祭・築瀬・中央・昭和・今泉・西原・西・東の各小学校区域に1か所児童遊園場設置。</p>
25年	<p>陽北土地地区画整理組合 土地地区画整理完了。栃木県告示により，一ノ沢町1丁目，一ノ沢町2丁目，和尚塚町1丁目，和尚塚町2丁目，和尚塚町3丁目の町区画が画定した。</p> <p>国立栃木病院，隣接地にあった日本医療団宇都宮中央病院を併合。</p>
26年	<p>私立戸祭保育園（旧陸軍病院跡）</p> <p>宇都宮大学栃木師範学校附属小学校（宝木校及び松原校），宇都宮大学学芸学部附属宝木小学校・宇都宮大学学芸学部附属松原小学校と改称。</p> <p>宇都宮大学栃木師範学校附属中学校，宇都宮大学学芸学部附属中学校と改称。</p>
27年	<p>国本村大字戸祭・宝木の一部が宇都宮市に合併。</p> <p>新町名：宝木町1丁目・宝木町2丁目・細谷町（以上旧宝木），上戸祭町・中戸祭町（以上旧戸祭），若草町（旧戸祭及び宝木の一部）</p> <p>火災のため宇都宮大学本部および学芸学部の一部焼失。</p>

	宇都宮市伝染病院利用組合病院（中戸祭）竣工，開院。
28年	戸祭町の一部を戸祭新川町と変更。 さくらんぼ幼稚園開園。
29年	国本村が宇都宮市に合併。 戸祭保育園が現在地に移転。 宇都宮市立戸祭公民館，戸祭小学校内に設置。 桜児童遊園開園。
30年	宇都宮市立昭和公民館，昭和小学校内に設置。 宇都宮市伝染病院利用組合を廃し，宇都宮市伝染病院は宇都宮市単独経営となる。
31年	宇都宮松原女子高等学校，宇都宮大学学芸学部跡地（若草）に移転。 4月に宇都宮市立戸祭中学校設立後，7月に宇都宮市立星が丘中学校と校名変更。 宇都宮市立戸祭小学校で原因不明の集団下痢患者118人発生。
32年	宇都宮松原女子高等学校，栃木県立宇都宮中央女子高校と改称。
35年	宇都宮大学学芸学部附属幼稚園，旧栃木県女子師範学校同窓会館及び図書館を改造した幼稚園舎ができた。
36年	桜通りの桜がアメリカシロヒトリのために全滅状態。
38年	桜通りの桜並木，陸上自衛隊第12特科連隊により伐採，伐根。
40年	戸祭町に県立体育館落成 新川の西側一帯約8,760世帯の住居表示実施。戸祭新川町・和尚塚町などがなくなり，星が丘・松原などの新町名ができる。
41年	宝木小・松原小の現地統合により宇都宮大学教育学部附属小学校となる。 宇都宮大学学芸学部附属中学校，宇都宮大学教育学部附属中学校と名称変更。 宇都宮大学学芸学部附属幼稚園，宇都宮大学教育学部附属幼稚園と名称変更。
42年	足利銀行，本店を足利市から宇都宮市桜4丁目1-25に移転。
43年	松原3丁目に松原勤労青少年ホーム建設着手。

	中戸祭町に宇都宮市共同職業訓練所開設。
44年	<p>松原勤労青少年ホーム開館。</p> <p>中部公民館開館。</p> <p>宇都宮市立戸祭公民館，宇都宮市立中部公民館戸祭分館と名称変更。</p> <p>宇都宮市立昭和公民館，宇都宮市立中部公民館昭和分館と名称変更。</p> <p>宇都宮市立戸祭小学校と宇都宮市立星が丘中学校，校舎校地交換により現在地に移転。</p> <p>宇都宮市共同職業訓練所，栃木県認定宇都宮共同職業訓練所と改称。</p>
47年	<p>戸祭4丁目に宇都宮市医師会館完成。</p> <p>桜4丁目に栃木県立美術館開館。</p>
48年	<p>宇都宮市立松原保育園開始。</p> <p>宇都宮大学教育学部附属幼稚園，新園舎に移転。</p> <p>桜4丁目に栃木県立郷土資料館開館。（現在は栃木県立美術館普及分館になっている。）</p>
50年	国立栃木病院附属高等看護学院，国立栃木病院附属看護学校と改称。
52年	<p>さくらんぼ幼稚園，宇都宮YMCA学園さくらんぼ幼稚園に名称変更。</p> <p>中戸祭町に栃木県武道館・栃木県弓道場が完成。</p>
56年	栃木県認定宇都宮共同職業訓練所，宇都宮共同産業技術学校と改称。
57年	<p>北公民館開設。</p> <p>中部公民館戸祭分館から北公民館戸祭分館へ名称変更。</p>
58年	作新高等理容美容学院，一の沢校舎から戸祭校舎（戸祭4丁目）に移転。
62年	<p>中部公民館，中央公民館と改称。</p> <p>中部公民館昭和分館から中央公民館昭和分館へ名称変更。</p>
平成5年 (1993)	北公民館戸祭分館建替工事竣工。

9年	中央公民館昭和分館，戸祭町に移転。
10年	作新高等理容美容学院，学校法人作新理容美容専門学院に改組。
11年	宇都宮市伝染病隔離病舎（中戸祭1丁目）を廃止。
14年	北公民館を廃止し，北生涯学習センターに名称変更。 北公民館戸祭分館から戸祭地域コミュニティセンターに名称変更。 中央公民館昭和分館から昭和地域コミュニティセンターに名称変更。
15年	戸祭保育園，園名称を「ナーサリースクールとまつり」に変更。
16年	国立栃木病院，独立行政法人化に伴い，独立行政法人国立病院機構栃木病院となる。 国立栃木病院附属看護学校，独立行政法人国立病院機構栃木病院附属看護学校と改称。 プラザインくろかみ閉鎖。
22年	北生涯学習センターに北市民活動センターを併設。
24年	作新理容美容専門学院閉校。
25年	独立行政法人国立病院機構栃木病院，独立行政法人国立病院機構栃木医療センターに名称変更。 独立行政法人国立病院機構栃木病院附属看護学校，独立行政法人国立病院機構栃木医療センター附属看護学校に改称。

※参考資料 『市政概要 平成27年度版』 宇都宮市議会事務局 2015年  
『事務概要 平成27年度版』

宇都宮市教育委員会生涯学習課 2015年

『宇都宮市遺跡地図 改訂版』 宇都宮市教育委員会 1997年

『ほそや地区郷土史』 ほそや地区郷土史刊行委員会 2007年

「宇都宮市公式ウェブサイト」（平成28年4月30日現在）

『栃木県教育史 第四巻』 国書刊行会 1986年

『とちぎ20世紀 上巻』 下野新聞社 2000年

『とちぎ20世紀 下巻』 下野新聞社 2001年

『角川日本地名大辞典 9 栃木県』 角川書店 1984年

『自治会史 私たちの町 まつばら通り』 松原通り自治会  
2014年

『宇都宮市六十周年記念誌』 宇都宮市 1960年

『宇都宮市議会史 年表編』 宇都宮市議会 1996年

『うつのみや歴史探訪』 塙静夫 2008年

## 2 町名

町名	由来等
<small>さくら</small> 桜4丁目	昭和40年の住居表示実施により成立した。 もとは和尚塚町1～2丁目と戸祭町・西原町・一ノ沢町2丁目の一部。 町名の由来は、明治40年に軍道（現桜通り）の両側に植えられた桜並木に由来するといわれる。
<small>いち さわまち</small> 一ノ沢町	昭和14年に城山村大字駒生の一部が宇都宮市に編入し、一ノ沢町が成立した。
<small>きたいち さわまち</small> 北一の沢町	一ノ沢町1～2丁目、和尚塚3丁目の各一部が、昭和40年の住居表示実施により成立した。
<small>たからぎちよう</small> 宝木町1丁目	昭和27年、国本村大字宝木および国本村大字戸祭から分離し、町名が成立した。 昭和40年、一部が戸祭4丁目・中戸祭1丁目・東宝木町になる。 宝木の地名の由来は、国立病院機構栃木医療センター（旧国立栃木病院）に残る古木（児の手柏）が宝の木と呼ばれ、この地域のシンボルであったことによるといわれている。
<small>とまつり</small> 戸祭1丁目	昭和40年の住居表示実施により成立した。 もと戸祭町・戸祭新川町の一部。
<small>とまつり</small> 戸祭2丁目	昭和40年の住居表示実施により成立した。 もと戸祭町・戸祭新川町・和尚塚3丁目の一部。
<small>とまつり</small> 戸祭3丁目	昭和40年の住居表示実施により成立した。 もと戸祭町・中戸祭町の一部。
<small>とまつり</small> 戸祭4丁目	昭和40年に成立。昭和60年住居表示実施。 もと戸祭町・一ノ沢町・一ノ沢1丁目・宝木町1丁目の一部
<small>とまつりちよう</small> 戸祭町	戸祭の地名の由来は、宇都宮城築城の際、城の「乾」に当たって民戸を祀り（雷電宮）、城の繁昌を祈ったためにこの名となったとも、また、この地が戸祭備中守高定の城地であったことによるとか、土を祀る土祭が転化して戸祭になったという説もある。

	<p>明治 22 年, 宇都宮町の町名になる。明治 29 年より宇都宮市町名。もとは戸祭村下組。</p> <p>昭和 25 年 一部が一ノ沢町 1～2 丁目・和尚塚 1～3 丁目となる。</p> <p>昭和 28 年 一部が戸祭新川町（現戸祭 1～2 丁目）となる。</p> <p>昭和 39 年 一部が清住 1 丁目になる。</p> <p>昭和 40 年 一部が戸祭元町, 下戸祭 1～2 丁目, 星が丘 1～2 丁目, 松原 1～3 丁目, 桜 2・4・5 丁目, 戸祭 1～4 丁目, 中一の沢東, 東宝木町, 中戸祭 1 丁目となる。</p> <p>昭和 49 年 一部が東戸祭 1 丁目・昭和 3 丁目・大曾 2 丁目・塙田 5 丁目となる。</p> <p>昭和 57 年 一部が戸祭台になる。</p>
なかとまつり 中戸祭 1 丁目	<p>昭和 40 年の住居表示実施により成立した。もと若草町・中戸祭町・戸祭町・宝木町 1 丁目の一部。</p> <p>昭和 58 年 再び中戸祭町の一部を編入。</p>
なかとまつりちょう 中戸祭 町	<p>昭和 27 年から宇都宮市の町名。もとは国本村戸祭の一部。</p> <p>昭和 40 年 一部が戸祭 3 丁目・中戸祭 1 丁目・東宝木町となる。</p> <p>昭和 57 年 一部が戸祭台になる。</p>
ひがしたからぎちょう 東宝木 町	<p>中戸祭町・宝木町 1 丁目・戸祭町の各一部が, 昭和 40 年の住居表示実施により成立した。</p>
ほし おか 星が丘 2 丁目	<p>戸祭町の一部が, 昭和 40 年の住居表示実施により成立した。</p>
まつばら 松原 1 丁目	<p>戸祭町の一部が, 昭和 40 年の住居表示実施により成立した。松原通り一帯（松原 1 丁目と 2 丁目の一部）は, 戸祭村大字柿ノ木と呼ばれていた。</p>
まつばら 松原 2 丁目	
まつばら 松原 3 丁目	
ようさいちょう 陽西 町	<p>一ノ沢町, 一ノ沢町 1 丁目の各一部が, 昭和 40 年の住居表示実施により成立した。</p>

※参考資料 『角川日本地名大辞典 9 栃木県』角川書店 1984 年

『自治会史 私たちの町 まつばら通り』 松原通り自治会  
2014 年

### 3 自然

#### (1) 地形

・本市は、北部には今市盆地と多気山及び古賀志山で構成される古賀志山地が分布し、中央北部には戸祭山、八幡山などの丘陵性山地からなる宇都宮丘陵が広がっている。

※参考資料 「宇都宮市ホームページ」より  
『(仮称) うつのみや生きものつながりプラン』環境保全課

#### (2) 山岳

・水道山 宇都宮市中戸祭町，戸祭台 標高182m  
配水場から南に連なる丘陵で、今では大部分が住宅地である。

・戸祭山 宇都宮市戸祭町 標高180m  
競輪場通り北側の駐輪駐車場周辺の丘陵地である。

市街地の中に局所的に残された丘に樹林と湿地が良好な状態で広く残っており、湿地に依存する重要種も見られる。尾根上にはアカマツ林も僅かながら残存する。鳥類等については八幡山との連担性も重要である。

※参考資料 『宇都宮市の植物』長谷川順一／著

※参考資料 「宇都宮市ホームページ」より  
『(仮称) うつのみや生きものつながりプラン』環境保全課

#### (3) 沼沢・河川

・比較的規模の大きい湖沼としては赤川ダム，栗谷沢ダムがあるほか、市街地内には鶴田沼やここから西方向に上欠沼がある。また、水道山周辺には湿地を形成する小規模な沢も見られる。

#### (4) 名木

・国立病院のコノテガシロ

古くからこの木は宝の木と呼ばれており、「宝木」の地名のおこりとなった名木といわれている。

・国立病院のシダレザクラ

国立栃木病院入口北側のシダレザクラで、古木である。

※参考資料 『宇都宮の名木』宇都宮市教育委員会

## 4 主要施設

### (1) 行政機関

#### ア 市の施設

##### ・戸祭地域コミュニティセンター

**所在地** 戸祭1丁目10-25 (戸祭小学校内)

沿革 昭和29年8月1日 戸祭小学校内に戸祭公民館設置  
昭和44年4月1日 中部公民館戸祭分館に名称変更  
昭和47年1月29日 戸祭分館新築落成式  
昭和57年4月1日 北公民館戸祭分館に名称変更  
平成5年3月25日 現在の建物に改築  
平成14年4月1日 戸祭地域コミュニティセンターに  
名称変更

延床面積 441.50 m<sup>2</sup> (留守家庭児童会を含む)

建築構造 鉄筋コンクリート2階建

施設 会議室, 和室2, 図書談話室, 調理室

市民主体の地域づくりを促進するための活動拠点施設

##### ・昭和地域コミュニティセンター

**所在地** 戸祭町3,043-1

沿革 昭和30年10月1日 昭和小学校内に昭和公民館設置  
昭和44年4月1日 中部公民館昭和分館に名称変更  
昭和56年8月15日 建物を改築  
昭和62年4月1日 中央公民館昭和分館に名称変更  
平成9年9月27日 現在の場所に新築移転  
平成14年4月1日 昭和地域コミュニティセンターに  
名称変更

延床面積 379.94 m<sup>2</sup>

建築構造 鉄筋コンクリート2階建

施設 会議室2, 和室2, 図書談話室, 調理室

市民主体の地域づくりを促進するための活動拠点施設

※参考資料 『市政概要 平成27年度版』 宇都宮市議会事務局 2015年

『事務概要 平成 27 年度版』

宇都宮市教育委員会生涯学習課 2015 年

『うつのみやの公民館』宇都宮市教育委員会生涯学習課 1994 年

『戸祭元町今昔』 福田勝美 2000 年

『自治会史 私たちの町 まつばら通り』

松原通り自治会 2014 年

「宇都宮市公式ウェブサイト」(平成 28 年 4 月 20 日現在)

## イ 警察

### 管轄警察署

- ・宇都宮中央警察署

所在地 下戸祭 1 丁目 1 - 6

### 管轄交番

- ・戸祭交番

所在地 中戸祭町 8 6 7 番地 2

※参考資料「栃木県警察ホームページ」(平成 28 年 5 月 4 日現在)

## ウ 消防

### 管轄消防署 (常備消防)

- ・西消防署 平成 14 年 2 月 9 日開署

所在地 鶴田 2 丁目 21 番 7 号

#### 業 務

庶務, 予防, 警防, 救急, 救助各グループで構成

#### 車 両

消防ポンプ自動車, 水そう付消防ポンプ自動車,

小型動力ポンプ付水そう車, 屈折はしご付消防ポンプ自動車,

化学消防ポンプ自動車, 救助工作車, 高規格救急自動車(2 台),

資材輸送車, 燃料補給車, 指揮車, 査察車(2 台)

- ・消防団 宇都宮市消防団第 1 分団 所在地: 星が丘 2 丁目

宇都宮市消防団第 10 分団 所在地: 若草 2 丁目

団員 20 名

消防ポンプ自動車 1 台

※参考資料 『消防年報 平成 27 年度版』宇都宮市消防本部 2015 年

**エ 公園・緑地 (1,000 m<sup>2</sup>未満の街区公園を除く)**

	名 称	所在地	種 別	面 積	備 考
1	一の沢 1 号児童公園	北一の沢町 34	街区公園	3,999 m <sup>2</sup>	
2	戸祭 4 丁目さくら児童公園	戸祭 4 丁目 1,058-4	街区公園	1,300 m <sup>2</sup>	
3	戸祭親水公園	戸祭町 3,055	街区公園	3,554 m <sup>2</sup>	
4	戸祭第 5 東公園	戸祭町 3,075-1	街区公園	1,000 m <sup>2</sup>	
5	戸祭第 5 西公園	中戸祭町 3,027-27	街区公園	1,020 m <sup>2</sup>	
6	中戸祭児童公園	中戸祭 1 丁目 922-9	街区公園	1,983 m <sup>2</sup>	
7	倍木児童公園	戸祭町 2,130-1	街区公園	1,549 m <sup>2</sup>	
8	桜美公園	桜 4 丁目 1,158-2	近隣公園	9,412 m <sup>2</sup>	
9	戸祭第 5 東緑地	戸祭町 3,075-2	都市緑地	2,334 m <sup>2</sup>	
10	戸祭ロックヒル緑地	戸祭町 2,729-21	都市緑地	872 m <sup>2</sup>	昭和地区

※参考資料 『宇都宮市の公園一覧 (平成 27 年 3 月 31 日現在)』

宇都宮市公園管理課より

**オ 水道**

・戸祭配水場

所在地 中戸祭町 2,841-2

配水池 有効水量 3,900 m<sup>3</sup> × 2

高架水槽 有効水量 700 m<sup>3</sup>

配水池は国指定文化財に登録あり。

名称：宇都宮市水道戸祭配水場配水池

分類：登録有形文化財（建造物）

構造及び形式等：煉瓦造及びコンクリート造，面積 1,910 m<sup>2</sup>

登録年月日：平成 18 年 10 月 18 日

建設年：大正 4 年（供用開始は大正 5 年 3 月）

#### ・メーター試験場

所在地 中戸祭町 850-10

※参考資料 『事業年報（水道・下水道・生活排水処理事業）平成 27 年版』  
宇都宮市上下水道局 2015 年  
『うつのみやの水道』宇都宮市水道局 1986 年  
「文化庁ウェブサイト 国指定文化財データベース」  
(2016 年 5 月 3 日確認)

## （2）教育施設

ア 小学校 ※学級数，児童数は平成 27 年 5 月 1 日現在

・戸祭小学校 所在地 戸祭 1 丁目 10-25

学級数：23 児童数：734

大正 11 年 宇都宮尋常小学校西分校として創立。

大正 12 年 宇都宮戸祭尋常小学校として独立。

昭和 16 年 宇都宮市立戸祭国民学校と改称。

昭和 22 年 宇都宮市立戸祭小学校と改称。

昭和 44 年 校舎を現在地に移転。

・宇都宮大学教育学部附属小学校 所在地 松原 1 丁目 7-38

児童数：643

明治 7 年 類似師範学校内に附属小学校設置

(栃木町旭町旧足利藩陣屋内) (5 月)。

栃木師範学校附属小学校と改称。(8 月)

明治 12 年 栃木県師範学校附属小学校と改称。

- 明治 18 年 栃木県師範学校宇都宮（二里山）に移転，附属小学校廃止。
- 明治 21 年 栃木県尋常師範学校附属小学校設置。
- 明治 31 年 栃木県師範学校附属小学校と改称。
- 明治 39 年 栃木県女子師範学校附属小学校を栃木県師範学校附属小学校に併置。
- 昭和 4 年 栃木県師範学校附属小学校，国本村宝木に移転。  
栃木県女子師範学校附属小学校，松原に移転。
- 昭和 16 年 栃木県師範学校男子部附属国民学校と改称。  
栃木県女子師範学校女子部附属国民学校と改称。
- 昭和 22 年 栃木県師範学校男子部附属小学校と改称。  
栃木県師範学校女子部附属小学校と改称。
- 昭和 24 年 宇都宮大学栃木師範学校附属小学校（宝木校及び松原校）に改称。
- 昭和 26 年 宇都宮大学学芸学部附属宝木小学校・宇都宮大学学芸学部附属松原小学校と改称。
- 昭和 41 年 宝木小・松原小の現地統合により宇都宮大学教育学部附属小学校となる。

**イ 中学校** ※学級数，生徒数は平成 27 年 5 月 1 日現在

・ **星が丘中学校**                      **所在地 星が丘 2 丁目 3-31**

学級数：25    生徒数：770

- 昭和 31 年 宇都宮市立戸祭中学校設立（4 月）  
宇都宮市立星が丘中学校に校名変更（7 月）

- 昭和 44 年 戸祭小学校と校舎校地交換により，現星が丘中学校の地に移転。

・ **陽西中学校**                      **所在地 陽西町 1-16**

学級数：21    生徒数：612

- 昭和 24 年 創立。
- 昭和 31 年 星が丘中学校独立。
- 昭和 38 年 宮の原中学校独立。
- 昭和 56 年 宝木中学校独立。

・ **宇都宮大学教育学部附属中学校**                      **所在地 松原 1 丁目 7-38**

生徒数：475

昭和 22 年 栃木県師範学校男子部附属中学校を宝木に設置。

栃木県師範学校女子部附属中学校を松原に設置。

昭和 24 年 栃木県師範学校男子部附属中学校と栃木県師範学校女子部附属中学校を統合し、栃木師範学校附属中学校を松原に設置（4月1日）。

宇都宮大学設置（5月31日）後、宇都宮大学栃木師範学校附属中学校に改称。

昭和 26 年 宇都宮大学学芸学部附属中学校と改称。

昭和 41 年 宇都宮大学教育学部附属中学校と改称。

## ウ 高等学校

### ・ 栃木県立宇都宮中央女子高等学校 所在地 若草 2 丁目 2-46

昭和 3 年 栃木県立宇都宮第二高等女学校として埴田町の栃木県女子師範学校内において開校式挙

行

昭和 8 年 戸祭町の女子師範学校内に新築移転

昭和 23 年 宇都宮松原高等学校と改称

昭和 26 年 栃木県立宇都宮松原高等学校と改称

昭和 31 年 若草町現在地に移転

昭和 32 年 栃木県立宇都宮中央女子高等学校と改称

※参考資料 「栃木県立宇都宮中央女子高等学校ホームページ」

### ・ 宇都宮文星女子高等学校 所在地 北一の沢町 24-35

昭和 4 年 宇都宮女子実業学校創立。

昭和 18 年 財団法人宇都宮女子商業学校に組織変更。

昭和 19 年 宇都宮第二女子商業学校設立。

昭和 23 年 宇都宮女子商業学校、宇都宮第二女子商業学校を合併して、宇都宮学園高等学校女子部となる。

昭和 28 年 校名を宇都宮女子商業高等学校として独立する。

平成 8 年 宇都宮文星女子高等学校に改称。

※参考資料 「宇都宮文星女子高等学校ホームページ」

## エ 幼稚園

- ・ **宇都宮大学教育学部附属幼稚園** 所在地 松原1丁目7-38

学級数：5学級

(年長2学級 年中2学級 年少1学級)

園児数：157名

- ・ **さくらんぼ幼稚園** 所在地 松原2丁目7-42

学級数：13学級

(年長4学級 年中4学級 年少4学級 満3歳児1学級)

園児数：303名

※参考資料

『平成27年宇都宮地区幼稚園ガイドブック 幼稚園・認定こども園ガイド』

(宇都宮地区幼稚園連合会／発行 ※平成27年5月1日現在の状況)

## オ その他の学校

- ・ **宇都宮大学教育学部附属特別支援学校** 所在地 宝木町1丁目2592

昭和44年 宇都宮大学教育学部附属小学校に特殊学級設置。

昭和46年 特殊学級独立校舎宝木町に完成。

昭和47年 宇都宮大学教育学部附属小学校特殊学級宝木校舎に移転。

宇都宮大学教育学部附属中学校に特殊学級設置(宝木校舎)。

昭和50年 宇都宮大学教育学部附属養護学校創設。

平成19年 宇都宮大学教育学部附属特別支援学校に校名変更。

※参考資料 「宇都宮大学教育学部附属特別支援学校ホームページ」

- ・ **宇都宮共同高等産業技術学校** 所在地 中戸祭町848

昭和33年 事業内職業訓練所として栃木県知事の認定。

昭和43年 宇都宮市共同訓練所として発足。

昭和44年 栃木県認定宇都宮共同高等訓練校と改称。

昭和56年 宇都宮共同高等産業技術学校と改称。

※参考資料 「宇都宮共同高等産業技術学校ホームページ」

・ **独立行政法人国立病院機構栃木医療センター附属看護学校**

**所在地 中戸祭 1 丁目 10-37**

昭和 22 年 国立栃木病院附属高等看護学院として発足。

昭和 50 年 国立栃木病院附属看護学校と改称。

平成 16 年 独立行政法人国立病院機構栃木病院附属看護学校と改称。

平成 25 年 独立行政法人国立病院機構栃木医療センター附属看護学校と改称。

※参考資料 「独立行政法人国立病院機構栃木医療センター附属看護学校ホームページ」

・ **宇都宮市医師会看護専門学校 所在地 戸祭 4 丁目 1-15**

平成 31 年 休校決定。

※参考資料 「宇都宮市医師会看護専門学校ホームページ」

※参考資料 『ほそや地区 郷土史』

ほそや地区郷土史刊行委員会 2007 年

『教育要覧 平成 27 年度』 宇都宮市教育委員会 2015 年

『市政概要 平成 27 年度版』 宇都宮市議会事務局 2015 年

『風土の中の栃木県校歌集 上巻・小学校編』

栃木県連合教育会 1987 年

『風土の中の栃木県校歌集 下巻・中・高・大編』

栃木県連合教育会 1988 年

『自治会史 私たちの町 まつばら通り』

松原通り自治会 2014 年

(3) 医療機関

ア 病院

	名 称	所在地	診療科目
1	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター	中戸祭 1-10-37	内科, 精神科, 神経内科, 呼吸器科, 消化器科, 循環器科, 小児科, 外科, 整形外科, 脳神

			経外科，呼吸器外科， 小児外科，皮膚科，泌尿器科，産婦人科，眼科，耳鼻科，リハビリテーション科，放射線科， 麻酔科，歯科，小児歯科， 歯科口腔外科
--	--	--	--

## イ 診療所

	名 称	所在地	診療科目
1	金子耳鼻咽喉科クリニック	松原 2-3-14	耳鼻科，気管食道科， アレルギー科
2	厚生労働省第二共済組合 栃木医療センター診療部	中戸祭 1-10-37 NH〇栃木医療センター内	内科，精神科，神経内科，呼吸器科，消化器科，循環器科，アレルギー科，小児科，外科， 整形外科，皮膚科，泌尿器科，産婦人科，眼科，耳鼻科，脳神経外科，小児外科，リハビリテーション科，放射線科，麻酔科，歯科， 小児歯科，歯科口腔外科
3	小林内科医院	戸祭 2-11-43	内科，循環器科，消化器科，リハビリテーション科
4	桜井内科診療所	細谷 1-7-38	内科，放射線科
5	そはら内科	松原 2-4-8	内科
6	高瀬整形外科	松原 2-7-22	整形外科，リハビリテーション科，リウマチ科，麻酔科

7	高瀬整形外科分院	戸祭 1-7-17	内科, リハビリテーション科, 整形外科
8	たかたクリニック	戸祭町 3039-2	内科, 産婦人科, 小児科
9	たかのクリニック	戸祭町 2762	内科, 胃腸科, 外科, 肛門科, 麻酔科
10	戸祭皮フ科	戸祭 2-5-18	皮膚科
11	マイクリニックたなか	桜 4-3-16	内科, 皮膚科, 産婦人科
12	宮川内科	北一の沢町 10-12	神経内科, 循環器科

#### ウ 歯科診療所

	名 称	所在地	診療科目
1	粕谷歯科医院	中戸祭町 850-35	歯科, 小児歯科, 歯科口腔外科
2	後藤歯科クリニック	中戸祭 1-13-24	歯科, 小児歯科
3	小林歯科医院	星が丘 2-9-3	歯科, 小児歯科
4	しのぎき歯科医院	宝木町 1-34-7	歯科, 矯正歯科, 小児歯科, 歯科口腔外科
5	林歯科クリニック	戸祭 1-9-1	歯科, 小児歯科
6	半田歯科医院	松原 2-5-7	歯科, 小児歯科, 歯科口腔外科
7	茂呂歯科医院宇都宮分院	戸祭 1-7-10	歯科, 矯正歯科, 小児歯科, 歯科口腔外科
8	築瀬歯科桜診療所	桜 4-11-22	歯科
9	渡辺歯科医院	戸祭 2-9-31	歯科, 矯正歯科, 小児歯科, 歯科口腔外科

※参考資料 『栃木県病院・診療所名簿 平成 27 年度』

栃木県保健福祉部医事厚生課 2015 年

(4) 社会福祉施設

ア 老人福祉施設

(ア) 居宅介護支援（居住サービス計画作成・ケアマネジャー）

	名 称	所在地
1	真心	戸祭 3-8-21
2	ケア・サファイア	中戸祭 1-9-25
3	ライフプランRose	中戸祭町 768-1 クーンハイツ中妻 201
4	あおば居宅介護支援事業所	中戸祭町 851

(イ) 介護予防支援（地域包括支援センター）

	名 称	所在地
1	地域包括支援センターきよすみ	星が丘 1-7-38

(ウ) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

	名 称	所在地
1	たいよう本舗	一ノ沢町 253
2	ケアサービス うつのみやファミリー	一ノ沢町 265-10
3	ケアサービスはつらつ	北一の沢町 9-8
4	アースサポート宇都宮	戸祭 3-5-3
5	真心	戸祭 3-8-21
6	ケア・サファイア	中戸祭 1-9-25
7	ライフケアRose	中戸祭町 768-1 クーンハイツ中妻 201
8	ヘルパーステーション あおば	中戸祭 851
10	訪問介護事業所サニーハート	東宝木町 8-15

(エ) 訪問入浴介護

	名 称	所在地
1	アースサポート宇都宮	戸祭 3-5-3

(オ) 通所介護〔療養通所介護含む〕(デイサービス)

	名 称	所在地
1	医療法人 社団慶和会高瀬整形外科 リハビリステーションことの葉	戸祭 1-7-17
2	アースサポート宇都宮	戸祭 3-5-3
3	だんらの家中戸祭	中戸祭 1-14-25
4	ツクイ戸祭	中戸祭町 3017-8
5	老人デイサービス松原	松原 1-4-10
6	ジョイリハ宇都宮	松原 2-2-26

(カ) 福祉用具貸与

	名 称	所在地
1	栃木トヨタ整備株式会社	中戸祭町 19

(キ) 福祉用具販売

	名 称	所在地
1	栃木トヨタ整備株式会社	中戸祭町 19

※参考資料 『介護サービス事業所等一覧』宇都宮市公式WEBサイトより

イ 児童福祉施設

(ア) 保育所

	名 称	所在地	種別
1	松原保育園	松原 3 丁目 1-5	公立保育所
2	ナーサリースクールとまつり (旧：戸祭保育園)	戸祭 1 丁目 4-12	私立保育所
3	おのぞら家庭的保育所	宝木町 1 丁目	地域型保育事業 (家庭的保育事業)

※参考資料 「平成 28 年度 保育施設入所のご案内（平成 28 年 4 月作成）」  
宇都宮市公式ウェブサイトより

(4) 子どもの家

	小学校名	愛 称	施設の場所
1	戸祭小	とちのみ会	戸祭地域コミュニティセンター 2 階

※参考資料 『事務概要（平成 27 年度版）』

宇都宮市教育委員会生涯学習課 2015 年

(5) 金融機関等

ア 郵便局

	名 称	所在地
1	宇都宮戸祭郵便局	戸祭 4-1-19
2	宇都宮中戸祭郵便局	中戸祭 1-9-31
3	ゆうちょ銀行 さいたま支店 独立行 政法人国立病院機構栃木病院出張所	中戸祭 1-10-37

イ 銀行

	名 称	所在地
1	足利銀行かましんカルナ戸祭店（A T M）	戸祭 3-4-15（かましんカルナ戸祭店内）
2	足利銀行国立栃木病院（A T M）	中戸祭 1-10-37（正面出入口前駐車場内）
3	栃木銀行戸祭支店	中戸祭 1-7-1
4	栃木銀行国立栃木病院（戸祭支店）（A T M）	中戸祭 1-10-37

ウ JAバンク

	名 称	所在地
1	JA うつのみや宝木出張所	宝木町 1-2591-1

## エ その他

	名 称	所在地
1	中央労働金庫宇都宮支店 中央労働金庫ローンセンター（宇都宮支店内）	中戸祭町 821

※参考資料 各ホームページ「日本全国銀行・A T Mマップ」・各銀行等

### (6) 体育施設

・ **栃木県体育館** 所在地 中戸祭 1 丁目 6-3

屋内総合体育施設の拠点として、本館・別館は昭和 40 年に、プール館は昭和 47 年に、武道館・弓道場は昭和 52 年にオープンした。

※参考資料 「栃木県体育館」栃木県のウェブサイトより

### (7) 文化施設

・ **栃木県立美術館** 所在地 桜 4 丁目 2-7

昭和 47 年 開館。

昭和 56 年 常設展示館開館。

昭和 57 年 収蔵庫増築。

※参考資料 「栃木県立美術館」ウェブサイトより

### (8) その他の施設

・ **栃木県立美術館普及分館** 所在地 桜 4 丁目 2-2

入居団体

公益財団法人日本ボーイスカウト栃木県連盟

公益財団法人栃木県環境保全公社

一般財団法人栃木県産業管理協会

公益財団法人被害者支援センターとちぎ

公益財団法人大谷地域整備公社

・ **宇都宮市医師会** 所在地 戸祭 4 丁目 1-15

※参考資料 「宇都宮市医師会ホームページ」

## 5 民俗

### (1) まつり・行事

	行事名（場所）	実施時期・特徴
1	例祭 しんめいぐう 神明宮（宝木町）	11月3日 六軒児童公園東に位置する。創建は江戸時代の寛文11年（1671年）。主祭神は大日靈貴神（おおひるめむちのかみ）
2	例祭 ながらじんじゃ 長良神社（宝木町1丁目）	11月3日 宇都宮中央女子校前の県道大沢・宇都宮線を南に入ったところ。主祭神は事代主命（ことしろぬしのみこと）。戸祭村の鎮守として祀られたものらしい。
3	例祭 かきづかじんじゃ 柿塚神社（中戸祭1丁目）	11月3日 日光街道から西に20mほどはいったところ。主祭神は不明。境内神社の初辰稻荷神社の祭神は倉稻魂神（うかのみたまのかみ）で、二荒山神社からの分霊という。

※参考資料『宇都宮の神社』作新学院高等学校 2008年

『栃木県神社誌』栃木県神社庁 2006年

『宇都宮の祭りと芸能』宇都宮市教育委員会 1984年

### (2) 民話と伝説

『宇都宮の民話』宇都宮市教育委員会／編 1983. 2  
p 9 「天子塚（あましづか）」

『宇都宮の寺院』宇都宮市教育委員会／編 1973. 2  
p 26 「靈光院にまつわる伝説」  
「天子塚」

## 6 主な文化財・遺跡等

	分野	名称・指定区分	特徴
1	遺跡	和尚塚 (戸祭2丁目)	宇都宮西部を南北につらなる宝木台地上に位置。現在、同塚1基のみを残すだけで周囲は宅地化。昭和8年頃、納骨堂建設のため高塚頂部を整地した際、室町時代末期の良訓和尚の墓であると考えられている。
2	古墳	祥雲寺境内古墳群 (東戸祭1丁目)	天子塚(あましづか)とも呼ばれる。全長およそ四〇メートルの前方後円墳。前方部は西に面しており、後円部の高さ約6メートル、前方部の高さ5メートルの後期型の古墳。前方部南隅に石材が露出している。
3	天然記念物	祥雲寺のしだれ桜 (東戸祭1丁目)	江戸ひがん(一名あづまひがん)の枝垂で、樹高約21m、枝張り東西約19m、南北約30m、枝垂れの長さもの約7m、目通り5m、本幹は地上2mにして2分岐している。明暦年間に、本堂再建の記念として植樹された。樹齢約300年。
4	古墳	戸祭山兜塚古墳 (戸祭町)	戸祭山の兜塚で、現「ますとます」の裏山をさす。円墳六基が散在する後期の古墳群。円墳6期。兜塚は直径30m、高さ5m。他のものも大きな円墳で横穴式石室を伴う。

5	遺跡	戸祭兔田山古墳 (戸祭町)	元家畜衛生研究所北側の競輪第17 駐車場東側山林で、駐車場工事中に土師器の完全な形を保った数点が出土。傾斜地のため、遺跡の範囲は定かではない。
6	古墳	大塚古墳群 (戸祭町・県指定遺跡)	古墳時代の古墳。円墳5基。
7	遺跡	水道山窯跡 (中戸祭町)	古代の瓦窯跡。栃木県内でも大規模な窯業地帯の一つ。

※参考資料「宇都宮の歴史と文化財」HP

- 『宇都宮市文化財年報』 宇都宮市教育委員会文化課  
『うつのみや歴史探訪 史跡案内九十九景』 塙 静夫 2008年  
『うつのみやの歴史再発見』 塙 静夫 1994年  
『うつのみやの文化財』 宇都宮市教育委員会  
『戸祭元町今昔』 福田勝美 2000年  
『宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第87集 大塚古墳群(B区)』  
宇都宮市教育委員会 2014年  
『栃木県埋蔵文化財報告書第29集  
宇都宮市戸祭山本山古墳・水道山瓦窯跡発掘調査報告書』  
栃木県教育委員会 1979年

## 7 交通

### (1) 道路

- ・日光街道、桜通り (国道119号)
- ・競輪場通り (宇都宮市道21号)
- ・新里街道 (栃木県道22号大沢宇都宮線)
- ・和尚塚通り (文星女子高通り)
- ・長岡街道 (栃木県道157号下岡本上戸祭線)
- ・戸祭台通り
- ・若戸通り
- ・宇都宮環状道路 (宮環、国道119号)
- ・宇都宮北道路 (国道119号)

※参考資料『うつのみや 道路愛称マップ』

### (2) 路線バス (関東バス)

- ・清住細谷線
- ・和尚塚細谷線
- ・西塙田戸祭・細谷線
- ・日光東照宮線
- ・今市瀬川線
- ・塩野室船生線
- ・石那田線
- ・戸祭ろまんちっく村線
- ・山王団地線
- ・戸祭台線

※参考資料 「宇都宮市HP バス路線運行系統一覧」

### (3) 戸祭タクシー株式会社

※参考資料「戸祭タクシーHP」

### (4) 桜通り

“軍道”と呼ばれ、桜の名所として栃木県民はもとより北関東の人々から親しまれてきた、いまの宇都宮市「桜通り」ができたのは明治四十一年。師団の宇都宮駐屯が決定したのにもなって、その前年から“軍道”として開発された。現在この道路は国道一一九号線に指定され、日光方面に通ずる重要な道路となっている。目的が宝木練兵場へ往復のための軍道だったため、開発当時から二十メートルの幅員があり、しかも兵器廠から師団司令部まで約二キロにわたる大規模な道路であったので、市民にとっては目をみはるほどの光景であった。その名のとおり“軍専用”の道路とあって市民の通行は禁止された。師団移駐当初は未完成で、お粗末なデコボコ道路であったが、これを宇都宮駐屯の各連隊はもとより水戸、高崎の両連隊からの支援将兵が、ツルハシやスコップで本格的な道路工事に当たり、数ヵ月の日時と延べ数万におよぶ将兵の汗の結晶によって立派な軍道ができあがった。

この軍道の両側に桜の苗木が約千本植えられ、のちに桜の名所として県民に親しまれたが「桜を植えよう」と発案したのは、ときの師団長鮫島中将であった。

※参考資『第十四師団史 日本陸軍の精鋭』

【参考】 宇都宮市全体から見た戸祭地区の状況

(1) 戸祭地区のデータ

- ・面積（宇都宮市統計データバンクデータ）
- ・人口世帯数（平成22年住民基本台帳データ）

項目	宇都宮市	戸祭地区	戸祭地区の順位
人口	511,739	12,955	13
世帯数	210,482	5,697	14
面積	416,785,368	2,137,717	21
人口密度	1,216	6082.2	8
年少人口構成率	14.4	15.8	9
生産年齢構成率	66.1	64.3	30
高齢者人口構成率	19.5	19.9	18
人口増加数	14,413	1202	7
人口増加率	0.03	0.10	7
世帯増加数	11,597	760	10
世帯増加率※	0.07	0.15	8

※平成17年住民基本台帳データとの比較（河内・上河内地区を除く）

- ・人口動態調査（平成26年）

項目	宇都宮市	本庁	本庁地区の順位
出生数	4,835	1,166	1
死亡数	4,552	1282	1
自然増人数	283	-116	16
転入者数	20,162	9,779	1
転出者数	18,861	9,644	1
社会増数	1,301	135	3
人口増加数	8,538	19	9

(2) 世帯・家族

地区	核家族世帯数	単独世帯数	高齢夫婦世帯数	高齢単身世帯数	母子世帯数
宇都宮市全体	58,796	71,628	17,777	14,252	14,436
戸祭地区	1,569	2,068	489	545	449

核家族化

順位	1位	2位	3位	備考
地区名	五代若松原	河内	陽光	戸祭17位
核家族率	65.6	64.6	63.8	55.1

(3) 高齢者

高齢者の世帯

65歳以上の単独世帯		
順位	地区	割合 (%)
1	東	12.64
2	西原	12.58
3	桜	11.94
4	西	10.96
5	富屋	10.88
6	陽南	10.82
7	宮の原	10.32
8	中央	10.15
9	昭和	10.06
11	戸祭	9.57

65歳以上の夫婦世帯		
順位	地区	割合 (%)
1	緑が丘	12.52
2	陽光	12.11
3	雀宮	11.09
4	明保	10.96
5	西原	10.94
6	東	10.56
7	城山	10.38
8	宮の原	10.23
9	篠井	10.19
15	戸祭	8.58

(4) 住宅環境

持ち家 (H22国勢調査)

桜 持ち家 2,015 借家 1,865 その他 7 計 3,887

持ち家率 順位	地区名	持ち家戸数	持家率
1	篠井	721	98.0
2	上河内	2,680	91.5
3	城山	4,608	79.5
24	戸祭	3,079	54.0
	宇都宮市全体	121,869	57.9

借家 (H22国勢調査)

順位	地区名	借家戸数	借家の 占める割合
1	城東	2,623	66.1
2	峰	4,099	63.5
3	今泉	3,304	62.8
16	戸祭	2,608	45.8
市全体		88,182	41.9

(5) 産業

農業 (2010 世界農林業センサス)

項目 地区	戸数 (戸)	人口 (人)	耕作面積 (ha)			
			田	畑	果樹園	計
都市拠点区域※	102	209	35	10	2	46
宇都宮市	6,141	20,623	9,305	1,075	389	10,769

※戸祭地区のみは出ません。

商業 (H19 商業統計調査) 政策審議室

項目 地区	商店数	従業員数	販売額 (百万円)	売り場面積 (㎡)
本庁	2,758	8,919	1,635,694	309,438
宇都宮市	5,901	50,129	283,592,566	750,288

※戸祭地区のみは出ません。

事業所 (H24 事業所・企業統計調査)

・町別産業大分類別事業所数及び従業員数 (民営)

項目 地区	事業所数	従業員数
本庁	9,758	108,013
宇都宮市	22,131	239,927

※戸祭地区のみは出ません。

工業 (H25 工業統計調査)

・地区, 工業団地別事業所数, 従業員数, 製造出荷額等

	事業所数	従業員数 (人)	製造品出荷額等	付加価値額	資産投資額
本庁	137	8,625	395,409	147,611	13,549
宇都宮市	537	29,852	1,810,262	518,815	58,056

平成 25 年 12 月 31 日現在 (単位: 百万円)

※戸祭地区のみは出ません。